

<シリーズ・日本語教師のためのワークショップ>

日本文化の理解と継承

ことばと文化は切り離せないものです。しかし、実際の日本語授業の中で、私たちは日本の文化を伝えられているでしょうか。学習者は何を期待し、私たちは何を伝えるべきなのでしょうか。そもそも文化とは何なのでしょう……。若き伝統文化の継承者を講師に迎え、日本語教育の中で文化の何をどのように扱うべきかをこのワークショップの中で皆さんとともに考えてみたいと思います。

| I 茶道 | II 能楽 |
|--|---|
| 2018年8月25日(土) | 2018年9月8日(土) |
| 時間：13:00~16:00 (12:30より受付) | 時間：13:00~16:00 (12:30より受付) |
| 会場：甲南大学岡本キャンパス iCommons 4階 茶室 | 会場：甲南大学岡本キャンパス iCommons 地下1階 歌舞伎・能楽練習室 |
| 講師：茶道藪内流 随竹庵七世 福田 竹式 (ふくだ ちくいつ) | 講師：能楽観世流 シテ方 上田 宜照 (うえだ よしてる) |
| 会費：お茶・お菓子代として500円 | 会費：無料 |

対象：現職日本語教師、日本語教育
関係専攻の学部・大学院生

定員：各回先着20名

参加ご希望の方は①お名前②ご所属
／勤務先③連絡用メールアドレスを
明記の上、

soukenteam143@gmail.com

までお申込ください。



このワークショップは、甲南大学総合研究所より研究チーム No.143「文化の継承と日本語教育」(代表トーマス・マック)に交付された研究費によって開催されます。

講師プロフィール



福田 竹 弑 (ふくだ・ちくいつ)

古儀茶道藪内流随竹庵七世

昭和63年11月30日生

6歳で甲南小学校入学と同時に祖父・竹有に師事

甲南中学高等学校卒

甲南大学文学部英語英米文学科卒

平成24年 「竹弑」襲名

平成29年 随竹庵七世を継承

学校法人甲南学園甲南幼稚園茶道講師

社団法人清交社茶道美術同好会講師

その他法人・企業にて講師活動

現在、神戸・大阪・奈良・東京の教場にて、茶道藪内流の指導を行っている。



上 田 宜 照 (うえだ・よしてる)

能楽観世流シテ方

昭和63年5月28日生

父・上田拓司、伯父・上田貴弘に師事

2歳で初舞台を踏む

甲南中学高等学校卒

甲南大学文学部人間科学科卒

平成28年 甲南学園100周年関連企画「第2回 花結日」にて能「菊慈童」を務める

観世流シテ方として国内で多数の舞台を務めることはもとより、平成28年からルーマニア、スロバキア、ブルガリアなど海外での能楽公演にも参加。同年10月にはベルギー国王フィリップ陛下御観覧の公演に参加する。

また、平成30年には甲南高等学校・中学校芸術鑑賞「能楽講座」にて能「土蜘蛛」を務めるなど、国内における若い世代への伝統文化の継承と普及活動にも携わる。

お二人は、平成29年1月より上田拓司、福田竹有監督指導の下、文化の調和と融合を目指す試み「幻点」を開催（学校法人甲南学園後援）されています。若き伝統文化の継承者であると同時に新しい境地の開拓者でもあり、今後の活躍が大いに期待されています。